高圧進相コンデンサ

SH方式高圧進相コンデンサ“ACEVAR®”（SH方式）は、低損失のオールフィルム形高圧進相コンデンサと、自己回復性を持つ蒸着電極形低圧進相コンデンサの技術を融合した新しい形の高圧進相コンデンサで、小形、低損失であり、保安装置を内蔵しています。
小形で取扱い易く、低損失で運転経費が節減できる省エネルギー時代にふさわしいコンデンサです。

油入式“ACEVAR®”（SH方式） L=6 %対応品

特 長

● 小形・軽量です

当社従来品（箔電極形NH方式コンデンサ）に比べ、体積で10～30 %、質量で20～40 %小形・軽量化され、取り扱いが一段と容易となりました。

● 損失が非常に少ない

誘電体のオールフィルム化により低損失であり、運転電力経費が節減できます。

● 温度上昇が低い

低損失のため温度上昇も低く、周囲温度50 ℃まで使用可能です。従ってキュービクル内や狭い電気室などへの設置に適しています。

● 高い絶縁信頼性を有しています

誘電体は均質性と絶縁耐力に優れたポリプロピレンフィルムを使用しています。
また蒸着電極による自己回復性により、安定した電気特性と高い絶縁信頼性を有します。

● 保安装置を内蔵しています

遮断性能の優れた保安装置を内蔵しているため、万一内部破壊が発生しても、直ちにコンデンサを電源から開放して二次災害を防止します。
160 kvar以上のコンデンサにはガス圧の異常上昇を検知して動作する圧力上昇検出用保護接点（圧力上昇検出スイッチ）が装備されています。（106 kvar以下は準標準として装備可）保安装置の詳細については9頁をご参照ください。

規格・性能

設置場所	屋内外兼用、標高1000 m以下
周囲温度	−20～+50 ℃（24時間平均45 ℃以下、1年間平均35 ℃以下）（温度種別B）
最高許容電圧	電圧倍数 / 許容印加時間 1.10 / 24時間のうち12時間以内 1.15 / 24時間のうち30分以内 1.20 / 5分以内 1.30 / 1分以内 ただし、1.15倍を超える電圧の印加は、コンデンサの寿命を通じて200回を超えないものとする。
最大許容電流	定格電流の130 %（ただし、容量の実測値が容量許容差内でプラス側のものは、その分だけ更に増加を認める。）
容量許容差	定格値に対して− 5 ～+10 %（at 20 ℃） （任意の2端子間の容量の最大値と最小値との比は1.08以下）
損失率	0.05 %以下（at 20 ℃、定格電圧）
温度上昇	25 K以下（at 35 ℃、定格電圧）
放電特性	端子開放後、その残留電圧を5分間で50 V以下にします。
絶縁強度	6600 V：22 / 60 kV　3300 V：16 / 45 kV
塗装色	マンセル　5Y 7/1色
保安装置	保安装置内蔵
保護接点	保護接点付（圧力上昇検出スイッチ）（ただし、160～532 kvarは標準装備、106 kvar以下は準標準として装備可）
準拠規格	JIS C 4902-1（2010）

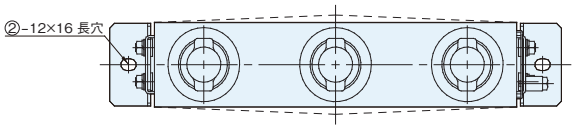
・軽汚損、中汚損地区（想定塩分付着密度0.06mg/cm²以下）でご使用いただけます。
・重汚損、超重汚損地区（想定塩分付着密度0.12～0.35mg/cm²）対応品も製作しますのでご用命ください。
・端子形状については、100kvar以下（14、15頁の図1～3）についても150kvar以上（16頁の図4～7）と同形状で製作しますのでご用命ください。

防振ゴムをご使用される場合は、次表の品番にてご用命ください。

防振ゴム品番	取付穴
Y1ZKEA4007	12 × 16長穴
Y1ZKEA4009	15 × 20長穴

※設置環境は設計用標準震度1G（鉛直方向は0.5G）、地域係数1.0の条件とします。

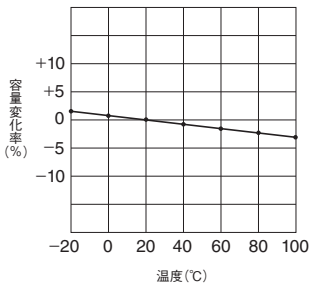
（例）



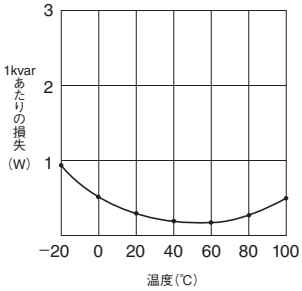
上図の場合、製品1台につき12×16長穴の取付穴が2つ（図中○部分）あるため、「Y1ZKEA4007」を2つ使用ください。

特 性

静電容量変化率ー温度特性



損失ー温度特性



nichicon

高圧進相コンデンサ

10～100 kvar（6600 V, 3300 V） L=6 %対応品

寸法図（mm）

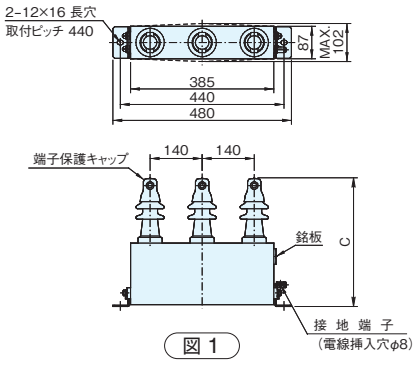


図 1

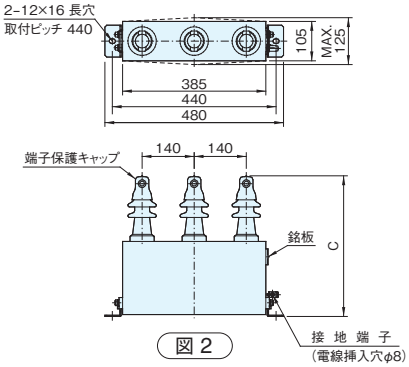
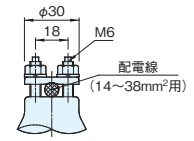


図 2

端子部詳細図



端子の締付トルクは、
3±0.6 N・m

図 1 ～ 3

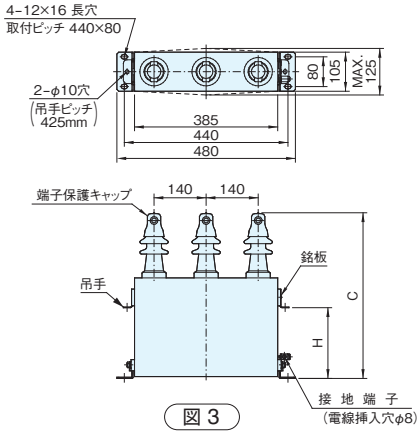
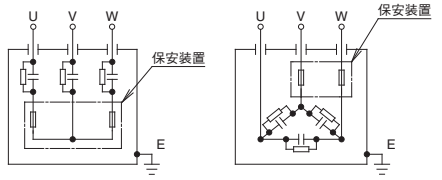


図 3

内部結線図



定格寸法表

L=6 %対応品　三相・屋内外兼用・放電抵抗内蔵・保安装置内蔵・予備銘板付・温度種別B

回路電圧 (V)	定格電圧 (V)	周波数 (Hz)	定格設備容量 (kvar)	定格容量 (kvar)	品番	定格電流 (A)	寸法 (mm) C	寸法 (mm) H	質量 (kg)	油量 (ℓ)	図
6600	7020	50 / 60	10 / 12	10.6 / 12.8	AF702120KCC	0.875 / 1.05	315	—	10	3.9	1
			15 / 18	16.0 / 19.1	AF702190KCC	1.31 / 1.57				3.6	
			20 / 24	21.3 / 25.5	AF702250KCC	1.75 / 2.10				3.3	
			25 / 30	26.6 / 31.9	AF702310KCC	2.19 / 2.62	330			3.5	
			30 / 36	31.9 / 38.3	AF702380KCC	2.62 / 3.15	345		11	3.7	
		50	50	53.2	AF702530KAC	4.37	395	—	15	5.6	2
			75	79.8	AF702790KAC	6.56	465	190	18	6.8	3
			100	106	AF702101KAC	8.75	525	230	23	7.7	
		60	50	53.2	AF702530KBC	4.37	375	—	14	5.3	2
			75	79.8	AF702790KBC	6.56	435	190	17	6.4	3
			100	106	AF702101KBC	8.75	480	230	19	6.9	
3300	3510	50 / 60	10 / 12	10.6 / 12.8	AF352120KCC	1.75 / 2.10	315	—	10	3.8	1
			15 / 18	16.0 / 19.1	AF352190KCC	2.62 / 3.15				3.5	
			20 / 24	21.3 / 25.5	AF352250KCC	3.50 / 4.20	330			3.6	
			25 / 30	26.6 / 31.9	AF352310KCC	4.37 / 5.25	345		11	3.8	
			30 / 36	31.9 / 38.3	AF352380KCC	5.25 / 6.30	375		14	5.8	2
		50	50	53.2	AF352530KAC	8.75	435	190	17	6.9	3
			75	79.8	AF352790KAC	13.1	480	230	19		
			100	106	AF352101KAC	17.5	600	285	27	10	
		60	50	53.2	AF352530KBC	8.75	395	—	15	5.8	2
			75	79.8	AF352790KBC	13.1	480	230	19	7.8	3
			100	106	AF352101KBC	17.5	525	230	23	8.2	

（注）1. 本コンデンサは、接続される直列リアクトルのリアクタンスが6%用のコンデンサです。リアクタンス6%の直列リアクトルを接続してご使用ください。
2. 定格設備容量とは、コンデンサと直列リアクトルを組み合わせた設備の、定格電圧および定格周波数における設計無効電力を示します。（ただし、定格設備容量は銘板には表示しません。）
3. 本コンデンサを2台以上併置設置される場合は、クーリングをよくするためコンデンサ側壁面の間隔を70mm以上離してください。
4. キュービクル等にご使用の場合は通風を良くして夏期最高温度においてもコンデンサの周囲温度が50℃以下（24時間の平均45℃以下）となるようご考慮願います。
5. 寸法図のMAX寸法は膨れ許容限度値です。
6. 端子部には力が加わらないよう結線はフレキシブルな電線を使用してください。（銅バー等による直接結線は行わないでください。）
7. 接地端子の接続は、電線をM8ボルトで確実に締付けてください。締付トルクは6.5±1N・mです。

高圧進相コンデンサ

10～100 kvar（6600 V, 3300 V）保護接点付 L=6 %対応品

寸法図（mm）

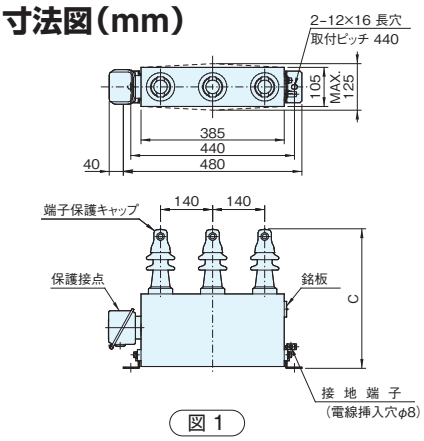


図 1

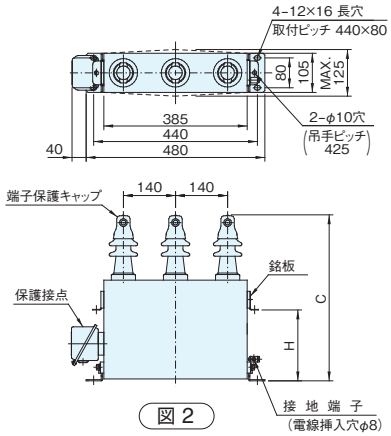


図 2

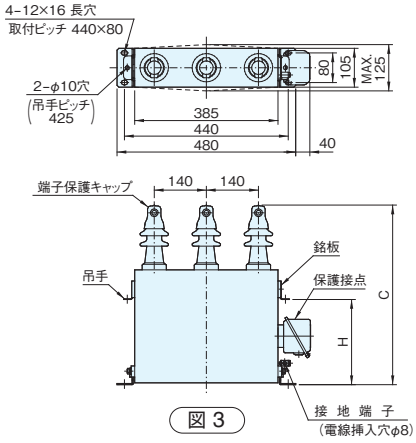
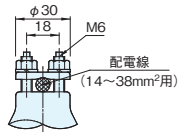


図 3

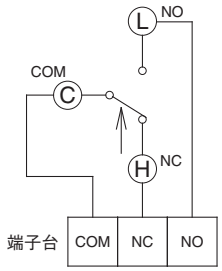
端子部詳細図



端子の締付トルクは、
3±0.6 N・m

図 1 ～ 3

圧力異常検出スイッチ接点



故障時		COM-NO ON	COM-NC OFF
接点容量	AC 250 V	1.0 A	1.0 A
	AC 125 V	3.0 A	2.0 A
	DC 100 V	0.1 A	0.05 A

矢印は圧力異常上昇時の作動方向を示します。

圧力上昇検出スイッチ接点

圧力上昇検出スイッチの接点は、警報回路または遮断器・開閉器の引き外し回路へ必ず接続してご使用ください。

定格寸法表

L=6 %対応品　三相・屋内外兼用・放電抵抗内蔵・保安装置内蔵・保護接点（圧力スイッチ）付・予備銘板付・温度種別B

回路電圧 (V)	定格電圧 (V)	周波数 (Hz)	定格設備容量 (kvar)	定格容量 (kvar)	品　番	定格電流 (A)	寸法 (mm) C	寸法 (mm) H	質量 (kg)	油量 (ℓ)	図
6600	7020	50 / 60	10 / 12	10.6 / 12.8	AF702120KCC1	0.875 / 1.05	375	—	14	7.2	1
			15 / 18	16.0 / 19.1	AF702190KCC1	1.31 / 1.57				6.9	
			20 / 24	21.3 / 25.5	AF702250KCC1	1.75 / 2.10				6.6	
			25 / 30	26.6 / 31.9	AF702310KCC1	2.19 / 2.62				6.3	
			30 / 36	31.9 / 38.3	AF702380KCC1	2.62 / 3.15				6.0	
		50	50	53.2	AF702530KAC1	4.37	395	—	15	5.6	1
			75	79.8	AF702790KAC1	6.56	465	190	18	6.8	2
			100	106	AF702101KAC1	8.75	525	230	23	7.7	3
		60	50	53.2	AF702530KBC1	4.37	375	—	14	5.3	1
			75	79.8	AF702790KBC1	6.56	435	190	17	6.4	2
			100	106	AF702101KBC1	8.75	480	230	19	6.9	3
3300	3510	50 / 60	10 / 12	10.6 / 12.8	AF352120KCC1	1.75 / 2.10	375	—	14	7.2	1
			15 / 18	16.0 / 19.1	AF352190KCC1	2.62 / 3.15				6.8	
			20 / 24	21.3 / 25.5	AF352250KCC1	3.50 / 4.20				6.5	
			25 / 30	26.6 / 31.9	AF352310KCC1	4.37 / 5.25				6.1	
			30 / 36	31.9 / 38.3	AF352380KCC1	5.25 / 6.30				5.8	
		50	50	53.2	AF352530KAC1	8.75	435	190	17	6.9	2
			75	79.8	AF352790KAC1	13.1	480	230	19		3
			100	106	AF352101KAC1	17.5	600	285	27	10	
		60	50	53.2	AF352530KBC1	8.75	395	—	15	5.8	1
			75	79.8	AF352790KBC1	13.1	480	230	19	7.8	3
			100	106	AF352101KBC1	17.5	525	230	23	8.2	

（注）1. 本コンデンサは、接続される直列リアクトルのリアクタンスが6%用のコンデンサです。 リアクタンス6%の直列リアクトルを接続してご使用ください。
2. 定格設備容量とは、コンデンサと直列リアクトルを組み合わせた設備の、定格電圧および定格周波数における設計無効電力を示します。（ただし、定格設備容量は銘板には表示しません。）
3. 本コンデンサを2台以上併置設置される場合は、クーリングをよくするためコンデンサ側壁面の間隔を106kvar以下は70mm以上、160kvar以上は90mm以上離してください。
4. キュービクル等にご使用の場合は通風を良くして夏期最高温度においてもコンデンサの周囲温度が50℃以下（24時間の平均45℃以下）となるようご考慮願います。

nichicon

高圧進相コンデンサ

150～500 kvar（6600 V, 3300 V）保護接点付 L=6 %対応品

寸法図(mm)

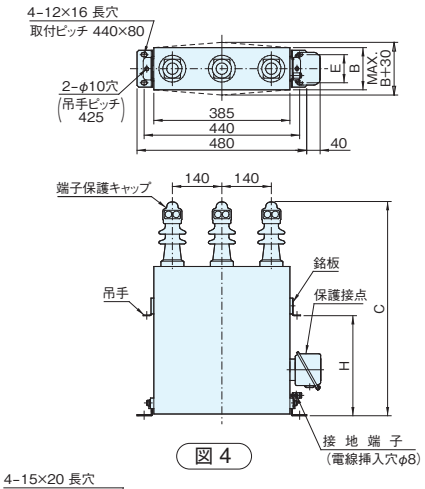


図 4

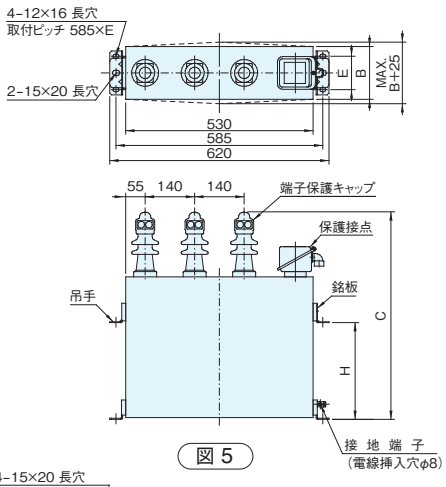


図 5

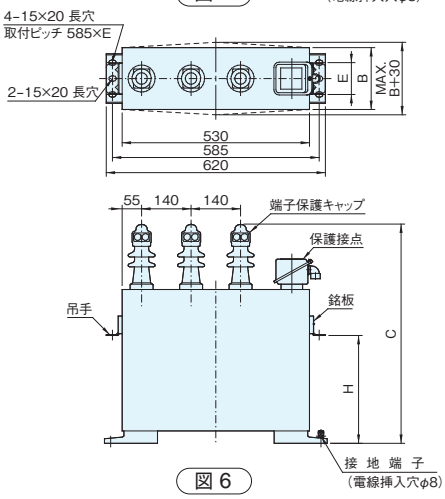


図 6

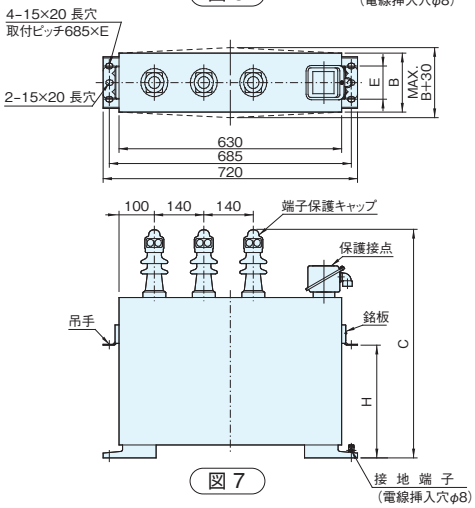
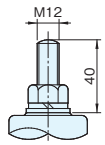


図 7

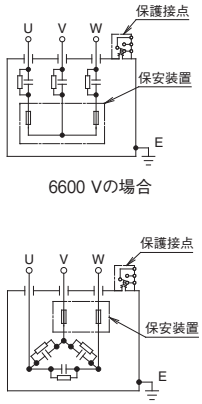
端子部詳細図



端子の締付トルクは、
30±0.6 N・m

図 4 ～ 7

内部結線図



定格寸法表

L=6 %対応品　三相・屋内外兼用・放電抵抗内蔵・保安装置内蔵・保護接点（圧力スイッチ）付・予備銘板付・温度種別B

回路電圧 (V)	定格電圧 (V)	周波数 (Hz)	定格設備容量 (kvar)	定格容量 (kvar)	品　番	定格電流 (A)	寸　法（mm） B	C	E	H	質量 (kg)	油量 (ℓ)	図
6600	7020	50	150	160	AF702161KAC1	13.1	120	610	80	285	31	9.9	4
			200	213	AF702211KAC1	17.5	135	590	95	275	45	16	5
			250	266	AF702261KAC1	21.9	175				56	21	
			300	319	AF702311KAC1	26.2	195	690	90	325	71	30	6
			400	426	AF702421KAC1	35.0	175	1020		605	115	49	
			500	532	AF702531KAC1	43.7					130	57	7
		60	150	160	AF702161KBC1	13.1	105	610	80	285	27	9.2	4
			200	213	AF702211KBC1	17.5	120	670		300	35	12	
			250	266	AF702261KBC1	21.9	150	590	95	275	48	19	5
			300	319	AF702311KBC1	26.2	175	690	90	325	64	28	6
			400	426	AF702421KBC1	35.0	150	1020		605	100	43	
			500	532	AF702531KBC1	43.7					115	49	7
3300	3510	50	150	160	AF352161KAC1	26.2	120	670	80	300	35	12	4
			200	213	AF352211KAC1	35.0	150	590	95	275	48	18	5
			250	266	AF352261KAC1	43.7	195				61	24	
			300	319	AF352311KAC1	52.5	230	690	140	325	83	36	6
			400	426	AF352421KAC1	70.0	175	1020	90	605	115	46	
			500	532	AF352531KAC1	87.5					130	53	7
		60	150	160	AF352161KBC1	26.2	120	610	80	285	31	11	4
			200	213	AF352211KBC1	35.0	135	590	95	275	45	17	5
			250	266	AF352261KBC1	43.7	175				56	22	
			300	319	AF352311KBC1	52.5	195	690	90	325	71	31	6
			400	426	AF352421KBC1	70.0	150	1020		605	100	40	
			500	532	AF352531KBC1	87.5					115	46	7

(注)5. 寸法図のMAX寸法は膨れ許容限度値です。
6. 端子部には力が加わらないよう結線はフレキシブルな電線を使用してください。（銅バー等による直接結線は行わないでください。）
7. 接地端子の接続は、電線をM8ボルトで確実に締付けてください。締付トルクは6.5±1N・mです。